

～在宅における食支援～

訪問リハビリテーションにおける食事・栄養・口腔・運動の重要性を再確認するとともに、「在宅における食支援マネジメント」の在り方を介護支援専門員等と共に考え、さらなる連携強化の機会とする。

令和4年 **2月5日** (土)

10時00分～12時00分

方法：オンライン開催 (ZOOM)

対象者：介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
管理栄養士・栄養士

参加費：各主催者協会の会員無料・非会員1,000円

特別講演：

「在宅における食事支援実態と必要性」

講師：およま城北クリニック 理事長 太田 秀樹氏 (医師)

シンポジウム：

「在宅における食支援」～評価と実践～

介護支援専門の立場から (問題提起)

言語聴覚士の立場から (摂食・嚥下)

作業療法士の立場から (食事動作)

理学療法士の立場から (フレイル)

管理栄養士・栄養士の立場から (栄養管理)

定員

1000人

(先着順)

主催

2021年度 訪問リハビリテーションフォーラム プログラム

1. 開会式（10:00～10:05）
開会挨拶：日本作業療法士協会 会長 中村 春基
2. 特別講演（10:05～10:35） 座長： 日本介護支援専門員協会 会長 柴口里則
『在宅における食支援の実態と必要性』（仮）
講師：おやま城北クリニック 理事長 太田 秀樹
3. シンポジウム（10:40～12:00）
座長：日本言語聴覚士協会 会長 深浦 順一 日本理学療法士協会 会長 斉藤 秀之
〈問題提起〉
介護支援専門員の立場から
〈課題解決〉
言語聴覚士の立場から（摂食・嚥下評価バッテリーと言語療法の実践）
作業療法士の立場から（食事動作の評価バッテリーと作業療法の実践）
理学療法士の立場から（フレイルの評価バッテリーと理学療法の実践）
管理栄養士・栄養士の立場から（栄養の評価バッテリーと栄養管理の実践）
〈意見交換〉30分
4. 閉会式（12:00～12:05）
閉会挨拶：訪問リハビリテーション振興財団 理事長 半田 一登

プログラムの詳細は(公社)日本理学療法士協会・(一社)日本作業療法士協会・(一社)日本言語聴覚士協会、
(一財)訪問リハビリテーション振興財団ホームページでご確認ください。また、予告無く変更することがありますのでご了承ください

お申し込み

定員は先着1000名（※定員に達し次第受付を終了いたします。）

インターネットでの申し込み：
右記のQRコードまたは、下記のURLから申し込みフォームにて入力を行ってください。

申し込みURL：<https://forms.gle/xHChTW9AWnbHM5Cj6>



お問い合わせメールアドレス：info@hvrpf.jp

(一財) 訪問リハビリテーション振興財団 事務局 〒106-0032 東京都港区六本木7丁目11番10号